

東海道五十三次 27 番目の宿場



2026(令和8)年6月25日
袋井市長定例記者会見資料
総務部 協働まちづくり課

自分らしく輝けるまちへ『多様性にじいろ週間』を実施 ～市職員が色とりどりの服装で性の多様性理解を啓発～

◇袋井市では、毎年6月に世界各地で実施される性的マイノリティ(LGBTQ+)の権利や多様性を祝福し啓発する「プライド月間」と、男女共同参画の実現に向け国民の理解を深めるために設けられた「男女共同参画週間」(6月23日～29日)に合わせ、市の複数の施設で性の多様性理解促進のため、『レインボーフラッグ』になぞらえた取組を行います。

- ① 6月10日(水)から、市役所1階・市民ホールや吹き抜けを『にじいろ』に装飾するとともに、2階・市民ギャラリーへ続く階段を『にじいろ階段』に装飾します。
- ② 6月23日(火)から29日(月)までの間、『多様性にじいろ週間』として、職員がカラフルな服装で啓発に取り組みます。また、来庁者を対象としたLGBTQ+に関する知識の啓発やアンケートによる関心度測定も行い、取組の効果を可視化していきます。

【概要】

1. 実施日時

- | |
|--|
| ① 市役所1階・市民ホールや吹き抜け、2階・市民ギャラリーへ続く階段を『にじいろ』に装飾
2026(令和8)年6月10日(水)～6月30日(火) 21日間 |
| ② 『多様性にじいろ週間』(職員がカラフルな服装で啓発)の実施
2026(令和8)年6月23日(火)～6月29日(月) 7日間 |

2. 『多様性にじいろ週間』の対象施設

市役所本庁舎、浅羽支所、教育会館、袋井図書館・浅羽図書館、総合健康センターなど、市民が日常的に利用する施設が対象。

3. 目的

- (1) 「誰もが自分らしくあること」を祝福する。
性の多様性を尊重し、それぞれがそのまま良いというメッセージを発信する。
- (2) LGBTQ+などに関する理解のきっかけづくり。
LGBTQ+の人々は10人に1人の割合で身近にいることを認識し、行動するきっかけづくりをする

本日(6月25日)は
着用強化日です！

